

## 感染症の発生について(情報提供)

### <概要>

下記のとおり腸管出血性大腸菌(O157)感染症発生の報告が当保健所にありました。  
内容につきましては、下記のとおりです。これは感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条に基づく情報の公表です。

病名	腸管出血性大腸菌(O157)感染症			
年齢及び性別	5歳・男			
職業	幼稚園児			
住所	四日市市			
発病年月日	平成22年 6月28日			
診断年月日	平成22年 7月 4日			
【患者発生の経過】				
6月28日	37.1 の発熱、腹痛あり。			
29日	39 の発熱、下痢あり。			
30日	微熱、腹痛、下痢あり。四日市市内の診療所を受診。通院治療開始。			
7月 2日	症状改善せず血便あり、診療所を受診。			
7月 4日	腹痛、下痢が続き、診療所受診。脱水症状のため市内病院に入院。 6月30日便検査の結果から、腸管出血性大腸菌(O157)感染症と診断された。 現在(7月4日)、脱水症状、腹痛がみられるが症状は安定。引き続き入院治療中です。			
【防疫措置】 家族・接触者の検病調査及び検便の実施				
【四日市市内の腸管出血性大腸菌感染症の発生状況】				
平成22年1月1日～平成22年7月4日現在まで本件含む ( )内は三重県内の発生				
	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
患者	2(18)	6(35)	2(24)	2(110)
保菌者	3(11)	4(18)	2(15)	0(94)
計(感染者)	5(29)	10(53)	4(39)	2(204)
【自分で出来る予防対策】				
1 予防の3原則				
加熱(菌を殺す)				
この菌は熱に弱く、75℃、1分間の加熱で死滅します。				
肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。				
ひき肉は、十分に加熱をしましょう。				
焼肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。				
井戸水は、煮沸してから飲んでください。				
迅速・冷却(菌を増やさない)				
調理した食品はすぐに食べましょう。				
清潔(菌をつけない)				
手指や調理器具は十分に洗いましょう。				
2 暴飲暴食は避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保ってください。				
3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けてください。				

### 連絡先

四日市市保健所 保健予防課 (059-352-0595)  
担当：内山・栗田